南山大学

保健センター利用案内

NANZAN UNIVERSITY

保健室（オリーブ　Olive）

学生相談室（エマオ　Emmaus）

大学生活支援室（ベタニア　Bethany）

南山大学保健センター

南山大学保健センターでは、本学の学生（大学院生などを含む）が健康に修学できるように専門的な視点で支援を行っています。保健センターの主な活動は、こころとからだ両面からの快適さの維持と、すこやかな成長を応援し見守ることです。

今日の健康管理は、「一次予防」（健康の保持増進）、二次予防（疾病の早期発見・早期治療）、三次予防（疾病の管理と適応の向上）を包括的に行うことが大切です。

保健室では、学生定期健康診断の実施に加えて、学校医や看護師による応急処置や健康相談を通じて、学生の健康管理を行っています。

また、ライフサイクルの視点でみると、学生時代は、青年期の終わりの時期にあたり、親からの自立や友人との関係の構築とともに、自分自身のアイデンティティの形成など、さまざまな課題があり、人生において大切な時期です。

学生相談室では、このような課題に関連したさまざまな困難に直面した学生に対する支援として、精神科医とカウンセラー（公認心理師/臨床心理士）による相談と活動を行っています。

また本学では、障害者差別解消法に基づいて、障がいを有する学生の支援を行っており、大学生活支援室に合理的配慮の窓口を置いています。コーディネーターによる「専門的支援」を行っています。

以上、保健センターでは、このように健康に関して総合的な視点から、学生生活へのサポート体制をととのえています。お気軽にご利用ください。

場所　開室時間 D 棟 1 階（保健室）平日（月～金）9:00-17:00 D 棟 2 階（学生相談室）平日（月～金）10:00-17:00 D 棟 2 階（大学生活支援室）平日（月～金）9:30-16:30
直通電話　052-832-3437
E-mail　nagoya-hoken@nanzan-u.ac.jp
掲示板　メインストリート第 1 研究室棟北側
保健センターに関する情報は、下記よりご確認ください。 ■http://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/ 南山大学ホーム>日本語トップ >在学生の皆様> 学生生活（学生課）>TOP> 保健センター ■PORTA（ポータルサイト）

保健センター

保健室（オリーブ Olive）　D 棟 1 階

保健室では、保健センターの総合受付の他に、健康管理、健康診断、健康相談、応急手当などの業務を行っています。

健康に関する資料（本・パンフレット等）、身長・体重計、体脂肪計、血圧計なども設置しています。また、簡易なアルコール体質判定も行っています。

お気軽にご相談ください。

※ただし、休暇中・大学行事日はこの限りではありません。

健康診断証明書について

※　アルバイト、課外活動、留学、教育実習、就職、奨学金などで必要な時に発行できます。

発行方法：C 棟 3 階の「証明書自動発行機」で発行できます。

☞　**注意**　健康診断を受けていない方、健康診断を受けていても未検査の項目がある場合や再検査を受けていない場合は、発行できません。

学生相談室（エマオ Emmaus）D 棟 2 階

学生相談室は、人間関係やこころの問題などで相談をしたいと思ったときに自由に話せるところです。ひとりで悩まず相談してみませんか。秘密は守ります。

- 学業、課外活動、
  就職活動など進路選択における問題
- 対人関係
- 家庭の中での問題
- 生き方、価値観の考察　　など

● 学生相談室 利用の流れ

① 予約を取る　＊完全予約制　＊面談時間は原則 50 分

保健室窓口にお申し込みください。

電話での申し込みも受け付けています。

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00

Phone：052-832-3437

保証人の方や教職員の申し込みも可能です。

↓

② 保健室で「学生相談室申し込みカード」の記入をする。

↓

③ 精神科医・カウンセラーによる面接（カウンセリング）

※　混み合う場合もございますので、なるべく事前にご予約ください。

※　初回は保健室からご案内をいたしますので、面接時間の前に保健室にお立ち寄りください。

自己発見・自己成長サポートプログラム

「自分のことを見つめてみたい」「今の自分が少しでも成長できればうれしい」。そのようなことを目的としたプログラムです。心理テストなどを用いて年に 2～3 回程、毎回異なるテーマで開催されます。

【メンタルヘルス相談】

普段、人は誰でも悩みを抱えると、日常生活において次のような変化が起きることがしばしばあります。

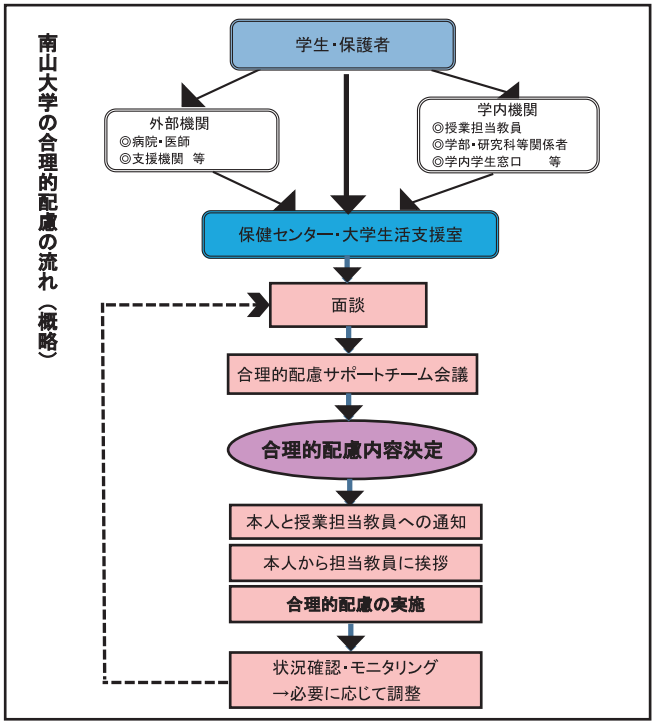
例えば・・・

- 勉強や作業への集中力が下がる。頭が回らなくなる。
- 何かするのが億劫になる。人と話したくない。
- ぐるぐる考え込んでしまう。食欲が落ちる、もしくは増える。
- 寝つきが悪い、熟睡できない、早く目が覚めてしまう。
- 特定の場所に入れなくなる。特定の場所に座っているのが困難になる。

メンタルヘルス相談では、あなたが抱えている悩みの内容をじっくり傾聴すると共に、これらの現象が緩和されることを目指した面接を行っています。精神科医を中心に無料で対応しています。お気軽にご相談ください。

大学生活支援室（ベタニア Bethany）D 棟 2 階

大学生活支援室では、学生の皆さんの安心できる学びの居場所の一つとして、疲れたとき、一人になりたいときなどに活用できるフリースペースを用意しています。学生の皆さんが、安心して学び、成長できるようサポートする場でもあり、カウンターの奥にはスタッフが常駐していますので、生活や修学上の困りごとがあれば尋ねてみることができます（継続相談、個別相談が望ましい場合は、学生相談をご案内します）。また、同室には合理的配慮支援の窓口があります。大学生活において、安心して学生自身の力を発揮してもらえるよう、配慮支援内容を調整し、配慮支援中もフォローを続け、サポートしていきます。



※　申し込み等に関してはD棟 1 階保健センター・保健室窓口にお尋ねください。